

## 福岡国際空港：旅客保安検査場に 最新 X 線 3D テクノロジーを導入

スミスディテクションが提供する最先端テクノロジー  
パソコンや液体物を取り出さずに手荷物検査が可能

8:47 am 東京、日本。2024 年 1 月 24 日-脅威物検出およびセキュリティ検査技術の世界的リーダーであるスミスディテクションは本日、福岡国際空港株式会社に CT 型 X 線検査装置 HI-SCAN 6040 CTiX とスマートレーン iLane A20 をそれぞれ 12 台導入すると発表しました。この最新テクノロジーは国内線北保安検査場と南保安検査場に順次導入されます。

HI-SCAN 6040 CTiX はコンピュータ断層撮影 (CT) X 線スキャナーで、より迅速な手荷物検査と低い誤報率を実現する高解像度の 3D 画像を生成します。この最新テクノロジーによりパソコンなどの電子機器や液体物を手荷物に入れたまま安全性を保ちながら迅速な検査が可能となります。次世代型スマートレーン iLane A20 は、高いスループットと運用効率性を兼ね備えた検査を提供することにより、スクリーニングプロセスを簡略化し、旅客の負担を軽減します。

セキュリティ業界をリードするスミスディテクションは、これまでに 42 台の CT 型 X 線検査装置と 143 台の iLane スマートレーンを日本国内に導入しています。HI-SCAN 6040 CTiX を備えた iLane A20 は従来の検査可能人数である 170 名程度/h から約 1.5 倍の 250 名/h 以上となる見込みです。

スミスディテクションの日本市場担当である営業本部長 松岡英司氏は、「福岡国際空港と共に、全国的に展開されている HI-SCAN 6040CTiX ならびに iLane A20 を用いて旅客がパソコンや液体物を手荷物から取り出さずに検査が可能となり、保安検査の高度化と検査時間を短縮することができ、お客様へより安全・安心・ストレスフリーなサービスを提供することができて大変光栄です。」と述べた。

スミスディテクションは 2024 年度中の導入完了を見込む。福岡空港国内線は、羽田空港国内線や那覇空港国内線に続きスミスディテクション製 CT 型 X 線検査装置を導入する。

## 本リリースで紹介した技術について

- <https://www.smithsdetection.com/products/hi-scan-6040-ctix/>
- <https://www.smithsdetection.com/products/ilane-a20/>

## スミスディテクションについて

スミスグループの一つであるスミスディテクションは、航空、港湾と国境、防衛および都市保安という分野の脅威物検出と検査技術のグローバル・リーダーです。40年以上に及ぶ、最前線で活躍してきた経験と実績を持つ当社では、爆発物、禁輸品、密輸、有毒化学物質および麻薬による脅威や不法携行から社会を守るのに必要なソリューションを提供しています。詳細情報については、<http://www.smithsdetection.com> をご覧ください。

本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

## Contacts

### Media

#### FTI Consulting:

Tom Hufton/Harriet Jackson/Ffion Dash  
[sc.smithsdetection@fticonsulting.com](mailto:sc.smithsdetection@fticonsulting.com)  
+44 (0)20 3727 1000

#### Smiths Detection:

Sophie Mills, Head of Corporate Communications  
[sophie.mills@smithsdetection.com](mailto:sophie.mills@smithsdetection.com)  
+44 (0)73 8423 6474